

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施。）。

期日 平成23年4月1日から6月30日までの間に実施された、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査。

3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。
なお、調査実施校数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校（園） 総数	児童等総数	調査実施学 校（園）数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者（人）	抽出率（%）	調査対象者（人）	抽出率（%）
幼 稚 園	129	3,231	30	941	29.1	1,169	36.2
小 学 校	333	72,426	59	5,513	7.6	22,504	31.1
中 学 校	171	40,509	39	4,276	10.6	15,191	37.5
高 等 学 校	85	40,878	28	2,437	6.0	17,673	43.2
計	718	157,044	156	13,167	8.4	56,537	36.0

注1：発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2：学校（園）総数及び児童等総数は平成23年度学校基本調査結果速報（青森県分）による。

注3：幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみ的人数である。

4 調査事項

- (1) 児童等の発育状態（身長、体重及び座高）
- (2) 児童等の健康状態（栄養状態、せき柱・胸部の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

《利用上の注意》

- (1) この速報は、文部科学省がまとめた「平成23年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成23年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- (2) 年齢は、平成23年4月1日現在の満年齢である。
- (3) 統計表の中の記号
「－」 該当者がいない場合
「…」 調査対象とならなかった場合
「0.00」 計数が単位未満の場合
- (4) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

A 発育状態

1 身長

男女とも全年齢で、全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では11歳及び13歳の1.6cm、女子では10歳の1.8cmとなっている。

- ① 男子は11歳、15歳、17歳、女子は5歳、11歳で全国第1位となっている。
- ② 最大の年間発育量は、男子は12歳から13歳時の7.3cmとなっている。女子は、9歳から10歳時の7.9cmとなっている。

表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)								
		青森県での調査人数	平成23年度(青森県) A	平成22年度(青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成23年度(全国) C	差 A-C	本県順位	
男	幼稚園	5歳	488	110.9	111.1	-0.2	-	110.5	0.4	7
	小学校	6歳	458	117.2	117.3	-0.1	6.1	116.6	0.6	2
		7歳	454	123.5	123.7	-0.2	6.2	122.6	0.9	2
		8歳	461	129.1	129.6	-0.5	5.4	128.2	0.9	2
		9歳	461	134.0	134.3	-0.3	4.4	133.5	0.5	6
		10歳	457	140.1	139.9	0.2	5.8	138.8	1.3	2
	中学校	11歳	462	146.6	146.7	-0.1	6.7	145.0	1.6	1
		12歳	711	153.8	153.9	-0.1	7.1	152.3	1.5	2
		13歳	708	161.2	161.3	-0.1	7.3	159.6	1.6	2
	高等学校	14歳	719	166.5	166.0	0.5	5.2	165.1	1.4	2
		15歳	394	169.6	169.4	0.2	3.6	168.3	1.3	1
		16歳	399	170.2	170.8	-0.6	0.8	169.9	0.3	10
		17歳	405	171.9	171.3	0.6	1.1	170.7	1.2	1
女	幼稚園	5歳	453	110.2	110.0	0.2	-	109.5	0.7	1
	小学校	6歳	455	116.1	117.3	-1.2	6.1	115.6	0.5	4
		7歳	455	122.6	122.7	-0.1	5.3	121.6	1.0	2
		8歳	461	128.5	128.4	0.1	5.8	127.4	1.1	2
		9歳	466	135.2	134.1	1.1	6.8	133.5	1.7	2
		10歳	461	142.0	141.8	0.2	7.9	140.2	1.8	2
	中学校	11歳	462	148.3	147.9	0.4	6.5	146.7	1.6	1
		12歳	713	152.7	152.7	0.0	4.8	151.9	0.8	2
		13歳	714	155.7	155.6	0.1	3.0	155.0	0.7	2
	高等学校	14歳	711	156.9	156.8	0.1	1.3	156.6	0.3	6
		15歳	414	157.4	157.3	0.1	0.6	157.1	0.3	14
		16歳	414	157.9	157.6	0.3	0.6	157.6	0.3	8
		17歳	411	158.2	157.9	0.3	0.6	158.0	0.2	14

(注)：1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の6.7cmは、146.6cm(23年度の11歳の数値) - 139.9cm(22年度の10歳の数値)で求められる。

2 体 重

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では14歳の2.7kg、女子では11歳の2.6kgとなっている。

- ① 男子は6歳、10歳、11歳、12歳、13歳、15歳、16歳、女子は5歳、8歳、9歳、11歳、12歳で全国第1位となっている。
- ② 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時の6.0kgとなっている。
女子は、9歳から10歳時及び10歳から11歳時の5.1kgとなっている。

表2 体重の平均値

区 分	年齢	体 重 (kg)								
		青森県 での調 査人数	平成23年度 (青森県) A	平成22年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成23年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	488	19.4	19.4	0.0	-	18.9	0.5	2
	小学校	6歳	458	22.1	22.2	-0.1	2.7	21.3	0.8	1
		7歳	454	25.1	25.1	0.0	2.9	24.0	1.1	2
		8歳	461	28.5	28.9	-0.4	3.4	27.0	1.5	2
		9歳	461	31.7	32.0	-0.3	2.8	30.3	1.4	3
		10歳	457	36.1	35.5	0.6	4.1	33.8	2.3	1
		11歳	462	40.6	40.3	0.3	5.1	38.0	2.6	1
	中学校	12歳	711	46.3	46.7	-0.4	6.0	43.8	2.5	1
		13歳	708	51.6	52.7	-1.1	4.9	49.0	2.6	1
		14歳	719	56.9	56.5	0.4	4.2	54.2	2.7	2
	高等学校	15歳	394	61.3	62.4	-1.1	4.8	59.4	1.9	1
		16歳	399	63.4	65.4	-2.0	1.0	61.3	2.1	1
		17歳	405	64.9	65.5	-0.6	-0.5	63.1	1.8	4
女	幼稚園	5歳	453	19.2	19.0	0.2	-	18.5	0.7	1
	小学校	6歳	455	21.2	22.5	-1.3	2.2	20.8	0.4	5
		7歳	455	24.3	24.3	0.0	1.8	23.4	0.9	2
		8歳	461	27.5	27.6	-0.1	3.2	26.4	1.1	1
		9歳	466	32.0	30.8	1.2	4.4	29.8	2.2	1
		10歳	461	35.9	36.3	-0.4	5.1	34.0	1.9	2
		11歳	462	41.4	41.1	0.3	5.1	38.8	2.6	1
	中学校	12歳	713	45.3	45.5	-0.2	4.2	43.6	1.7	1
		13歳	714	49.0	49.1	-0.1	3.5	47.1	1.9	2
		14歳	711	50.9	52.0	-1.1	1.8	49.9	1.0	4
	高等学校	15歳	414	53.1	52.5	0.6	1.1	51.4	1.7	2
		16歳	414	53.0	53.8	-0.8	0.5	52.4	0.6	9
		17歳	411	53.9	53.8	0.1	0.1	52.8	1.1	3

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の5.1kgは、40.6kg(23年度の11歳の数値) - 35.5kg(22年度の10歳の数値)で求められる。

3 座 高

男女とも全年齢で、全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では12歳及び13歳の1.0cm、女子では12歳の1.0cmとなっている。

- ① 男子の17歳、女子の12歳、15歳、17歳の数値は、これまでの最高値となっている。
- ② 男子は6歳、11歳、15歳、女子は11歳、12歳、15歳で全国第1位となっている。
- ③ 年間発育量が最大なのは、男子は11歳から12歳時の3.8cmとなっている。
女子は、9歳から10歳時の3.7cmとなっている。

表3 座高の平均値

区 分	年 齢	座 高 (cm)								
		青森県 での調 査人数	平成23年度 (青森県) A	平成22年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成23年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	442	62.2	62.1	0.1	-	62.0	0.2	6
	小学校	6歳	458	65.4	65.2	0.2	3.3	64.9	0.5	1
		7歳	454	68.2	68.4	-0.2	3.0	67.7	0.5	2
		8歳	461	70.8	71.3	-0.5	2.4	70.2	0.6	2
		9歳	461	73.0	73.0	0.0	1.7	72.6	0.4	5
		10歳	457	75.7	75.3	0.4	2.7	74.9	0.8	2
	中学校	11歳	462	78.5	78.4	0.1	3.2	77.6	0.9	1
		12歳	711	82.2	82.2	0.0	3.8	81.2	1.0	2
		13歳	708	85.9	86.0	-0.1	3.7	84.9	1.0	2
	高等学校	14歳	719	89.0	88.6	0.4	3.0	88.1	0.9	2
15歳		394	91.1	90.8	0.3	2.5	90.3	0.8	1	
16歳		399	91.5	91.8	-0.3	0.7	91.3	0.2	13	
17歳		405	<u>92.5</u>	91.9	0.6	0.7	91.9	0.6	2	
女	幼稚園	5歳	404	61.8	61.7	0.1	-	61.4	0.4	2
	小学校	6歳	455	64.8	65.4	-0.6	3.1	64.4	0.4	3
		7歳	455	67.8	67.8	0.0	2.4	67.2	0.6	2
		8歳	461	70.4	70.6	-0.2	2.6	69.9	0.5	2
		9歳	466	73.6	73.1	0.5	3.0	72.7	0.9	2
		10歳	461	76.8	76.6	0.2	3.7	75.9	0.9	2
	中学校	11歳	462	80.1	80.0	0.1	3.5	79.2	0.9	1
		12歳	713	<u>83.1</u>	82.7	0.4	3.1	82.1	1.0	1
		13歳	714	84.5	84.2	0.3	1.8	83.9	0.6	2
	高等学校	14歳	711	85.2	85.1	0.1	1.0	84.9	0.3	3
15歳		414	<u>86.1</u>	85.7	0.4	1.0	85.4	0.7	1	
16歳		414	86.0	85.5	0.5	0.3	85.6	0.4	3	
17歳		411	<u>86.2</u>	85.9	0.3	0.7	85.8	0.4	2	

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。(過去最高値と同数の場合も含む。)
2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の3.2cmは、
78.5cm(23年度の11歳の数値) - 75.3cm(22年度の10歳の数値)で
求められる。

4 30年前（親の世代）との比較

本県の身長・体重・座高の平均値は、親の世代である30年前の昭和56年度と比較すると、女子の14歳の体重が0.1kg減っており、女子の5歳の座高が同じ数値となっている。それ以外の各項目においては男女とも全ての年齢で親世代より数値が上がっている。

① 身長

男子の身長を比較すると、最も差のある年齢は13歳で3.4cm親の世代より高い。
また、女子では10歳で2.4cm親の世代より高い。

② 体重

男子の体重を比較すると、最も差のある年齢は17歳で4.0kg親の世代より重い。
また、女子では11歳で2.6kg親の世代より重い。

③ 座高

男子の座高を比較すると、最も差のある年齢は13歳で2.5cm親の世代より高い。
また、女子では12歳で1.8cm親の世代より高い。

表4 30年前の身長・体重・座高の平均値との比較

区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)			
		平成23年度 A	昭和56年度 B	差 A-B	平成23年度 C	昭和56年度 D	差 C-D	平成23年度 E	昭和56年度 F	差 E-F	
男	幼稚園	5歳	110.9	110.6	0.3	19.4	19.1	0.3	62.2	62.1	0.1
		6歳	117.2	116.8	0.4	22.1	21.5	0.6	65.4	65.3	0.1
	小学校	7歳	123.5	122.1	1.4	25.1	23.9	1.2	68.2	67.6	0.6
		8歳	129.1	127.8	1.3	28.5	26.6	1.9	70.8	70.2	0.6
		9歳	134.0	133.0	1.0	31.7	30.0	1.7	73.0	72.5	0.5
		10歳	140.1	138.7	1.4	36.1	33.1	3.0	75.7	74.7	1.0
		11歳	146.6	144.5	2.1	40.6	37.6	3.0	78.5	77.1	1.4
	中学校	12歳	153.8	150.9	2.9	46.3	42.6	3.7	82.2	80.3	1.9
		13歳	161.2	157.8	3.4	51.6	47.7	3.9	85.9	83.4	2.5
		14歳	166.5	163.8	2.7	56.9	53.5	3.4	89.0	86.9	2.1
	高等学校	15歳	169.6	167.7	1.9	61.3	59.0	2.3	91.1	89.5	1.6
		16歳	170.2	169.3	0.9	63.4	60.5	2.9	91.5	90.2	1.3
		17歳	171.9	170.0	1.9	64.9	60.9	4.0	92.5	90.5	2.0
	女	幼稚園	5歳	110.2	110.0	0.2	19.2	18.9	0.3	61.8	61.8
6歳			116.1	115.5	0.6	21.2	20.9	0.3	64.8	64.6	0.2
小学校		7歳	122.6	121.4	1.2	24.3	23.2	1.1	67.8	67.1	0.7
		8歳	128.5	126.8	1.7	27.5	26.0	1.5	70.4	69.6	0.8
		9歳	135.2	133.0	2.2	32.0	29.6	2.4	73.6	72.3	1.3
		10歳	142.0	139.6	2.4	35.9	33.9	2.0	76.8	75.4	1.4
		11歳	148.3	146.1	2.2	41.4	38.8	2.6	80.1	78.7	1.4
中学校		12歳	152.7	150.9	1.8	45.3	43.7	1.6	83.1	81.3	1.8
		13歳	155.7	154.5	1.2	49.0	47.8	1.2	84.5	83.4	1.1
		14歳	156.9	156.0	0.9	50.9	51.0	-0.1	85.2	84.3	0.9
高等学校		15歳	157.4	156.5	0.9	53.1	52.7	0.4	86.1	85.0	1.1
		16歳	157.9	156.7	1.2	53.0	52.7	0.3	86.0	84.9	1.1
		17歳	158.2	157.4	0.8	53.9	53.7	0.2	86.2	85.1	1.1

図1 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

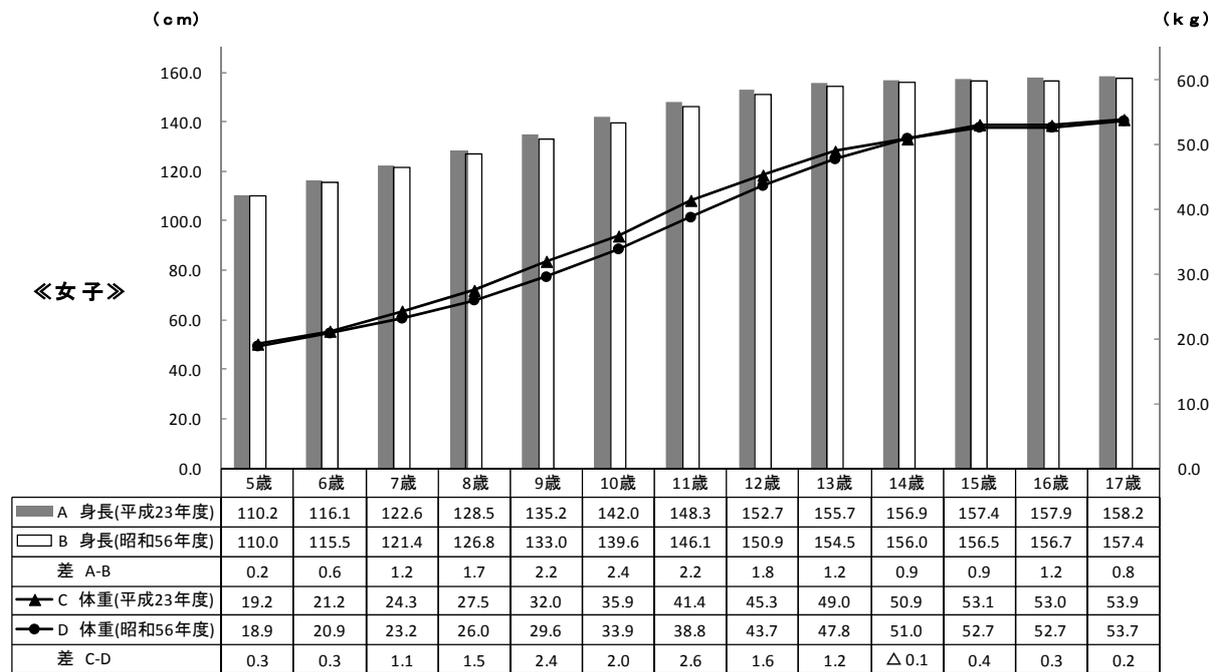
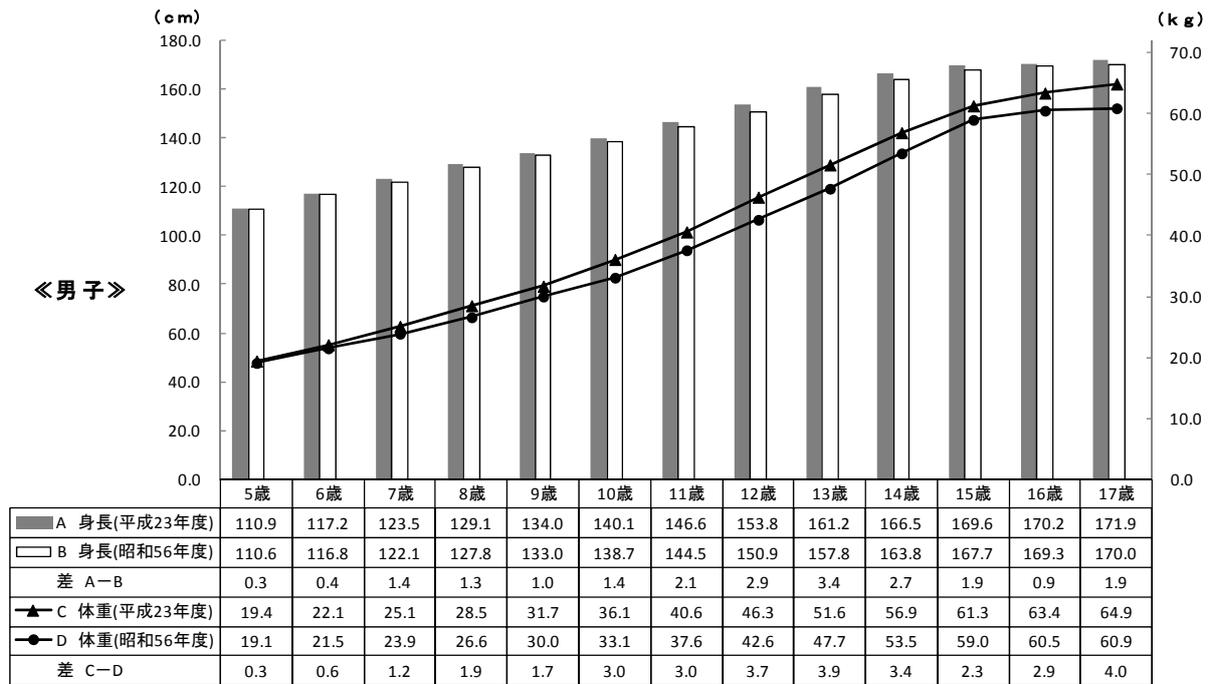


表5 身長に占める足の長さの割合

区分	幼稚園	小学校						中学校				高等学校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	平成23年度 A	43.9	44.2	44.8	45.2	45.5	46.0	46.5	46.6	46.7	46.5	46.3	46.2	46.2
	昭和56年度 B	43.9	44.1	44.6	45.1	45.5	46.1	46.6	46.8	47.1	46.9	46.6	46.7	46.8
	差(A-B)	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.4	-0.4	-0.3	-0.5	-0.6
女	平成23年度 C	43.9	44.2	44.7	45.2	45.6	45.9	46.0	45.6	45.7	45.7	45.3	45.5	45.5
	昭和56年度 D	43.8	44.1	44.7	45.1	45.6	46.0	46.1	46.1	46.0	46.0	45.7	45.8	45.9
	差(C-D)	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	-0.1	-0.1	-0.5	-0.3	-0.3	-0.4	-0.3	-0.4

注：股下÷身長×100＝身長に占める足の長さの割合（四捨五入を行っている）

5 高等学校3年生の12年間の発育量

高等学校3年生（17歳）の幼稚園入園時（平成11年度に5歳）から12年間の発育量は、男子の身長が60.4cm、体重が45.1kg、女子の身長が47.7cm、体重が34.4kgとなっている。

- ① 年間発育量の大きい時期を見ると、男子は身長で中学校1年生から中学校2年生の間（7.2cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（6.2kg）となっており、女子は身長で小学校4年生から5年生の間（7.3cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（4.9kg）となっている。
- ② 年間発育量が最も大きい時期を親の世代と比較すると、男子の身長は同時期に、男子の体重は1歳早く、女子の身長は1歳早く、女子の体重は1歳遅くピークを迎えている。

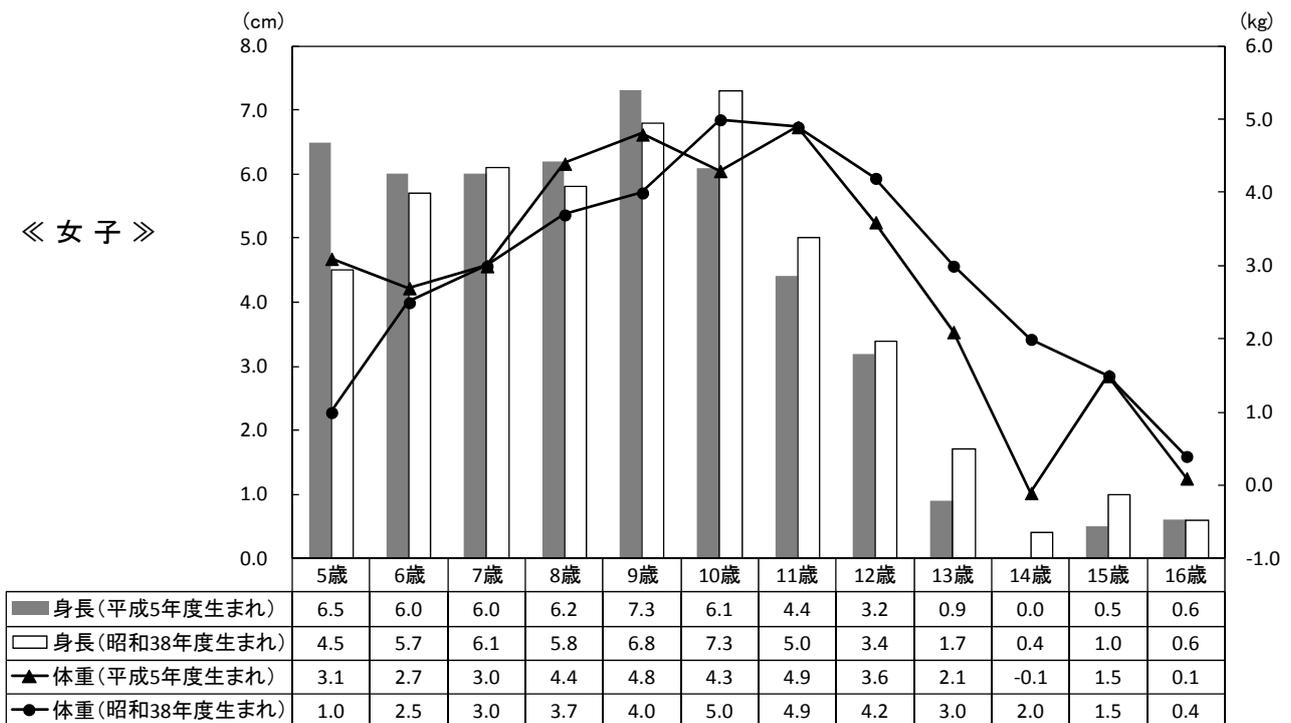
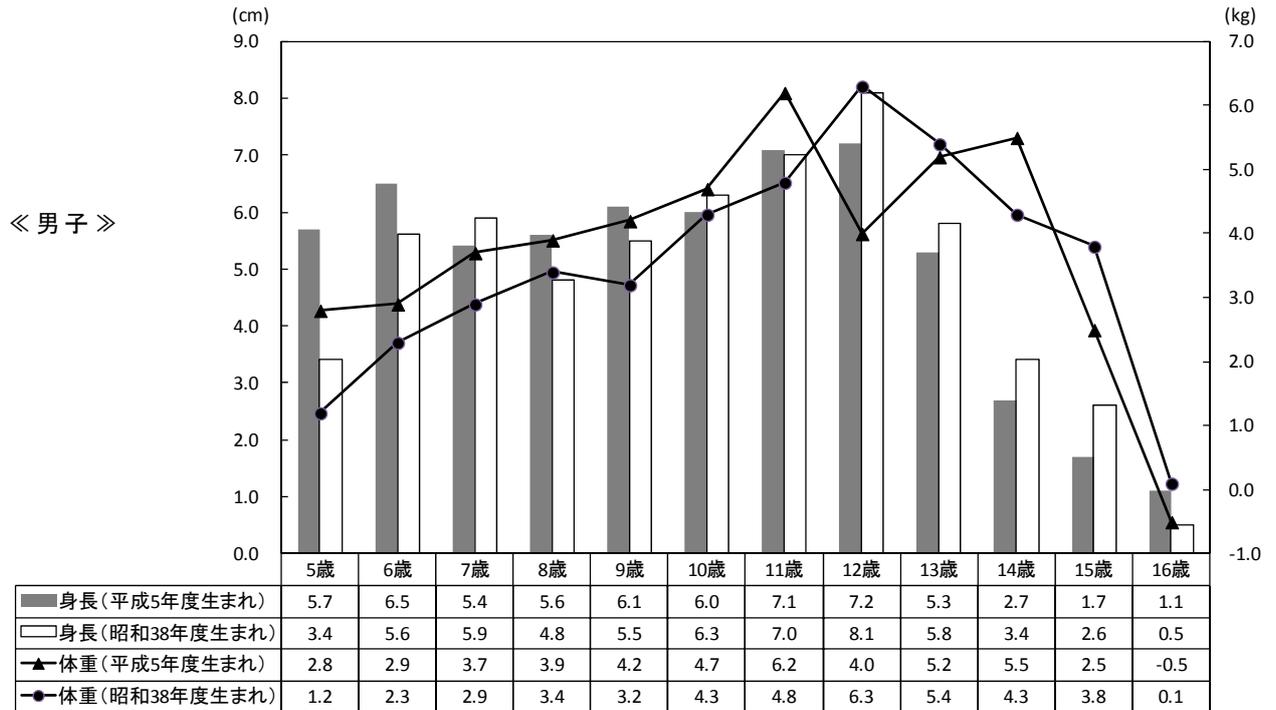
表6 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）

－ 平成5年度生まれ（平成23年4月時点17歳）と昭和38年度生まれ（昭和56年4月時点17歳）の比較 －

区分	当時	身長（cm）				体重（kg）				
		平成5年度 生まれ	年間 発育量	昭和38年度 生まれ	年間 発育量	平成5年度 生まれ	年間 発育量	昭和38年度 生まれ	年間 発育量	
男	幼稚園	5歳	111.5	5.7	111.1	3.4	19.8	2.8	18.9	1.2
	小学校	6歳	117.2	6.5	114.5	5.6	22.6	2.9	20.1	2.3
		7歳	123.7	5.4	120.1	5.9	25.5	3.7	22.4	2.9
		8歳	129.1	5.6	126.0	4.8	29.2	3.9	25.3	3.4
		9歳	134.7	6.1	130.8	5.5	33.1	4.2	28.7	3.2
		10歳	140.8	6.0	136.3	6.3	37.3	4.7	31.9	4.3
		11歳	146.8	7.1	142.6	7.0	42.0	<u>6.2</u>	36.2	4.8
	中学校	12歳	153.9	<u>7.2</u>	149.6	<u>8.1</u>	48.2	4.0	41.0	<u>6.3</u>
		13歳	161.1	5.3	157.7	5.8	52.2	5.2	47.3	5.4
		14歳	166.4	2.7	163.5	3.4	57.4	5.5	52.7	4.3
	高等学校	15歳	169.1	1.7	166.9	2.6	62.9	2.5	57.0	3.8
		16歳	170.8	1.1	169.5	0.5	65.4	-0.5	60.8	0.1
		17歳	171.9		170.0		64.9		60.9	
	12年間の発育量			60.4		58.9		45.1		42.0
女	幼稚園	5歳	110.5	6.5	109.1	4.5	19.5	3.1	18.5	1.0
	小学校	6歳	117.0	6.0	113.6	5.7	22.6	2.7	19.5	2.5
		7歳	123.0	6.0	119.3	6.1	25.3	3.0	22.0	3.0
		8歳	129.0	6.2	125.4	5.8	28.3	4.4	25.0	3.7
		9歳	135.2	<u>7.3</u>	131.2	6.8	32.7	4.8	28.7	4.0
		10歳	142.5	6.1	138.0	<u>7.3</u>	37.5	4.3	32.7	<u>5.0</u>
		11歳	148.6	4.4	145.3	5.0	41.8	<u>4.9</u>	37.7	4.9
	中学校	12歳	153.0	3.2	150.3	3.4	46.7	3.6	42.6	4.2
		13歳	156.2	0.9	153.7	1.7	50.3	2.1	46.8	3.0
		14歳	157.1	0.0	155.4	0.4	52.4	-0.1	49.8	2.0
	高等学校	15歳	157.1	0.5	155.8	1.0	52.3	1.5	51.8	1.5
		16歳	157.6	0.6	156.8	0.6	53.8	0.1	53.3	0.4
		17歳	158.2		157.4		53.9		53.7	
	12年間の発育量			47.7		48.3		34.4		35.2

- (注)：1. 年間発育量とは、例えば、平成5年度生まれ（平成23年度17歳）の「5歳時」の年間発育量は、平成12年度調査6歳の者の体位から平成11年度調査5歳の者の体位を引いたものである。
2. 昭和38年度生まれの6歳と7歳の数値は、都道府県集計が行われていないため、全国値による。
3. 下線は最大年間発育量を示す。

図2 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）



6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男子は全年齢で、女子は16歳を除く各年齢で全国値以上の数値となっている。

① 肥満傾向児

男子では、12歳の出現率が15.61%で最も高率となっており、全国値との差では8歳が最も大きく、6.95ポイント上回っている。

女子では、9歳の出現率が13.19%で最も高率となっており、全国値との差では9歳が最も大きく、6.37ポイント上回っている。

② 痩身傾向児

男子では、17歳の出現率が2.14%で最も高率となっており、全国値との差では15歳が最も大きく、1.33ポイント下回っている。

女子では、12歳の出現率が3.43%で最も高率となっており、全国値との差では15歳が最も大きく、1.68ポイント下回っている。

表7 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

区 分	年齢	肥満傾向児						痩身傾向児						
		平成23年度 (青森県)	平成22年度 (青森県)	差	全 国	差	本県	平成23年度 (青森県)	平成22年度 (青森県)	差	全 国	差	本県	
		A	B	A-B	C	A-C	順位	D	E	D-E	F	D-F	順位	
男	幼稚園	5歳	3.18	4.11	-0.93	2.14	1.04	9	0.41	0.47	-0.06	0.33	0.08	16
	小学校	6歳	6.53	7.76	-1.23	3.75	2.78	3	0.15	0.00	0.15	0.40	-0.25	34
		7歳	8.47	7.77	0.70	5.18	3.29	3	0.39	1.06	-0.67	0.54	-0.15	24
		8歳	13.65	13.19	0.46	6.70	6.95	2	0.83	1.32	-0.49	1.17	-0.34	28
		9歳	13.53	15.12	-1.59	8.39	5.14	3	0.99	1.47	-0.48	1.50	-0.51	33
		10歳	15.46	12.55	2.91	9.42	6.04	3	2.02	3.82	-1.80	2.69	-0.67	31
		11歳	12.58	15.24	-2.66	9.46	3.12	6	2.07	1.96	0.11	3.05	-0.98	43
	中学校	12歳	15.61	14.86	0.75	10.25	5.36	2	2.01	1.19	0.82	2.43	-0.42	30
		13歳	12.78	16.92	-4.14	9.02	3.76	3	1.57	1.50	0.07	1.55	0.02	19
		14歳	12.14	12.29	-0.15	8.48	3.66	1	1.39	0.85	0.54	1.73	-0.34	25
	高等学校	15歳	14.00	18.86	-4.86	11.99	2.01	12	1.27	1.66	-0.39	2.60	-1.33	39
		16歳	15.27	18.77	-3.50	11.16	4.11	2	1.66	2.48	-0.82	1.82	-0.16	22
		17歳	13.94	13.95	-0.01	11.54	2.40	6	2.14	1.39	0.75	1.54	0.60	9
女	幼稚園	5歳	6.30	3.77	2.53	2.40	3.90	1	0.64	0.99	-0.35	0.40	0.24	9
	小学校	6歳	5.36	11.60	-6.24	3.93	1.43	9	1.91	0.42	1.49	0.65	1.26	1
		7歳	8.80	8.15	0.65	4.86	3.94	1	0.17	0.91	-0.74	0.55	-0.38	42
		8歳	8.77	10.26	-1.49	5.94	2.83	3	1.02	1.27	-0.25	1.03	-0.01	23
		9歳	13.19	10.26	2.93	6.82	6.37	1	0.50	1.50	-1.00	1.96	-1.46	43
		10歳	11.77	12.64	-0.87	7.71	4.06	1	2.91	2.44	0.47	2.64	0.27	10
		11歳	12.15	12.11	0.04	8.12	4.03	4	2.07	2.19	-0.12	2.98	-0.91	32
	中学校	12歳	10.74	13.20	-2.46	8.51	2.23	11	3.43	2.74	0.69	4.32	-0.89	25
		13歳	12.14	10.96	1.18	7.49	4.65	1	2.46	1.93	0.53	3.91	-1.45	41
		14歳	8.18	11.07	-2.89	7.43	0.75	17	2.04	0.75	1.29	2.61	-0.57	32
	高等学校	15歳	13.10	10.56	2.54	8.26	4.84	1	0.97	1.24	-0.27	2.65	-1.68	43
		16歳	5.96	12.91	-6.95	7.33	-1.37	37	2.55	1.32	1.23	2.22	0.33	10
		17歳	9.99	10.69	-0.70	7.76	2.23	10	1.74	2.40	-0.66	1.89	-0.15	25

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

B 健康状態

1 疾病・異常の被患率等別の状況

疾病・異常を被患率等別にみると、いずれの学校区分においても「むし歯（う歯）」が高い。

表8 疾病・異常の被患率等

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
90%以上				
80%以上～90%未満				
70～80				
60～70		むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）
50～60	むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
40～50				
30～40		裸眼視力1.0未満の者		
20～30				
10～20		鼻・副鼻腔疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患
1～10	8～10			
	6～8		歯垢の状態	
	4～6	歯列・咬合	耳疾患	眼の疾病・異常 歯列・咬合 歯肉の状態
	2～4	裸眼視力1.0未満の者 アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患	眼の疾病・異常 歯列・咬合 栄養状態 ぜん息	耳疾患 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常 心電図異常 蛋白質検出の者
	1～2	鼻・副鼻腔疾患 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常 心臓の疾病・異常 その他の疾病・異常	歯垢の状態 歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 心電図異常 その他の疾病・異常	栄養状態 蛋白質検出の者 ぜん息 その他の疾病・異常
0.1～1	0.5～1	耳疾患 口腔咽喉頭疾患・異常 ぜん息	口腔咽喉頭疾患・異常 蛋白質検出の者	口腔咽喉頭疾患・異常 せき柱・胸郭異常 難聴 アトピー性皮膚炎 ぜん息
	0.1～0.5	顎関節 歯垢の状態	難聴 顎関節 せき柱・胸郭異常 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 顎関節 せき柱・胸郭異常 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1未満			言語障害	言語障害
該当者なし	栄養状態 せき柱・胸郭異常 眼の疾病・異常 寄生虫卵保有者 腎臓疾患 言語障害	結核 寄生虫卵保有者	結核	結核
非公表	蛋白質検出の者			裸眼視力1.0未満の者

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
 2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。
 3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
 4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
 5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。
 6. 「非公表」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、または回答校が1校以下のため統計数値が公表されていないものである。

2 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等のうち主なものについて、その推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常等の推移

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾 鼻 ・ 副 鼻 患 腔	疾 口 腔 ・ 咽 喉 常 頭	(む う し 歯)	の 蛋 白 検 者 出	心 電 図 異 常	保 寄 生 虫 有 者 卵	ぜ ん 息
幼稚園	平成13年度	41.5	4.6	12.7	2.7	72.3	-	…	-	1.1
	平成19年度	X	0.2	1.2	0.7	66.4	0.2	…	-	0.1
	平成20年度	X	3.1	9.5	1.4	64.7	0.6	…	-	1.2
	平成21年度	X	7.5	X	2.2	60.5	-	…	-	0.6
	平成22年度	X	2.0	5.5	0.7	49.5	-	…	-	1.8
	平成23年度	3.0	0.7	1.6	0.9	55.0	X	…	-	0.7
	全 国	25.5	2.5	4.4	2.4	43.0	0.8	…	0.1	2.8
小学校	平成13年度	39.2	4.6	13.7	2.1	81.5	0.4	1.8	0.0	0.7
	平成19年度	40.7	6.0	15.8	1.1	76.8	1.0	1.7	-	1.4
	平成20年度	43.1	4.8	15.1	1.3	74.3	0.3	1.5	0.0	2.0
	平成21年度	42.8	5.0	16.8	1.0	71.6	0.6	1.5	0.0	2.4
	平成22年度	42.4	5.1	16.1	1.3	68.8	0.8	2.3	-	2.2
	平成23年度	39.8	5.2	14.3	0.7	69.5	0.8	1.7	-	2.6
	全 国	29.9	5.5	12.5	1.5	57.2	0.8	2.5	0.2	4.3
中学校	平成13年度	57.2	2.7	9.7	1.2	72.2	1.1	1.5	…	0.4
	平成19年度	60.6	1.9	8.1	0.3	65.2	1.8	2.1	…	0.7
	平成20年度	64.5	3.1	15.6	1.9	68.8	1.7	1.9	…	1.8
	平成21年度	X	4.1	14.9	0.4	64.9	1.2	2.1	…	1.0
	平成22年度	65.5	3.1	16.8	0.5	62.5	2.3	2.7	…	2.1
	平成23年度	62.7	3.3	13.6	0.5	55.2	1.8	2.6	…	1.2
	全 国	51.6	3.3	11.8	0.8	48.3	2.6	3.4	…	2.8
高等学校	平成13年度	65.5	0.8	9.1	0.7	86.8	0.9	1.6	…	0.1
	平成19年度	59.8	3.2	X	0.3	72.2	2.1	1.2	…	1.0
	平成20年度	68.1	2.5	X	0.8	71.0	2.4	1.6	…	0.7
	平成21年度	X	2.0	12.2	0.7	73.4	1.7	1.6	…	0.8
	平成22年度	X	0.7	5.2	0.3	70.6	1.7	2.0	…	0.9
	平成23年度	X	1.2	13.3	0.6	69.0	2.5	2.1	…	0.7
	全 国	60.9	1.6	8.8	0.6	58.5	2.9	3.1	…	1.9

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。
 2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 3. 寄生虫卵保有者については、5歳から8歳のみ実施している。
 4. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

(1) 鼻・副鼻腔疾患

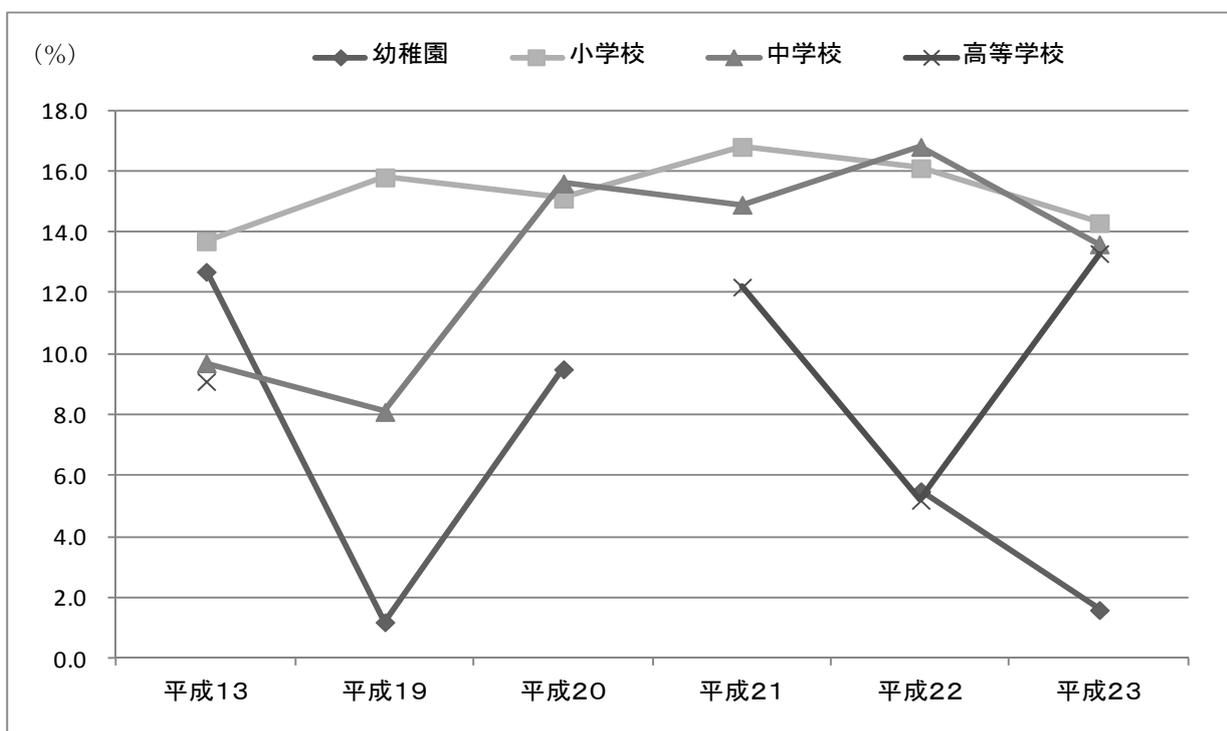
- ① 鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎など）の被患率は、小学校、中学校及び高等学校の区分で、全国平均を上回っている。
- ・小学校では14.3%（全国平均12.5%）
 - ・中学校では13.6%（同11.8%）
 - ・高等学校では13.3%（同8.8%）
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合が増加している。

表 10 鼻・副鼻腔疾患の者の推移

(単位:%)

区 分	平成13	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	全国平均 平成23
幼稚園	12.7	1.2	9.5	X	5.5	1.6	4.4
小学校	13.7	15.8	15.1	16.8	16.1	14.3	12.5
中学校	9.7	8.1	15.6	14.9	16.8	13.6	11.8
高等学校	9.1	X	X	12.2	5.2	13.3	8.8

図 3 鼻・副鼻腔疾患の者の推移



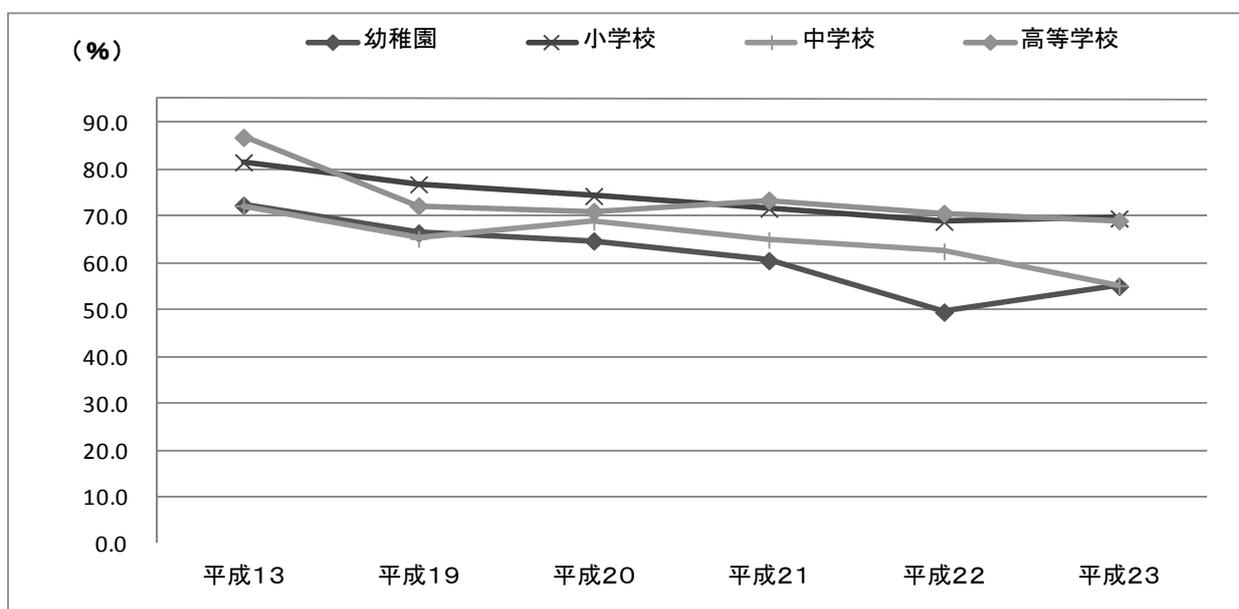
(2) むし歯（う歯）

- ① むし歯の被患率（処置完了者を含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。
- ・幼稚園では55.0%（全国平均43.0%）
 - ・小学校では69.5%（同57.2%）
 - ・中学校では55.2%（同48.3%）
 - ・高等学校では69.0%（同58.5%）
- ② 10年前と比較すると、全学校区分においてその割合は減少している。

表11 むし歯（う歯）の被患率の推移

区 分		平成13	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	全国平均 平成23
幼稚園	計	72.3	66.4	64.7	60.5	49.5	55.0	43.0
	処置完了者	20.2	23.7	22.5	21.3	17.8	18.9	16.9
	未処置歯のある者	52.1	42.7	42.2	39.2	31.7	36.0	26.0
小学校	計	81.5	76.8	74.3	71.6	68.8	69.5	57.2
	処置完了者	32.1	30.4	30.8	32.1	28.3	30.6	28.7
	未処置歯のある者	49.4	46.4	43.5	39.5	40.4	38.9	28.6
中学校	計	72.2	65.2	68.8	64.9	62.5	55.2	48.3
	処置完了者	41.1	36.2	35.6	35.2	33.5	29.8	26.8
	未処置歯のある者	31.1	29.0	33.2	29.7	29.0	25.4	21.6
高等学校	計	86.8	72.2	71.0	73.4	70.6	69.0	58.5
	処置完了者	43.2	38.7	34.3	37.7	33.1	32.9	32.2
	未処置歯のある者	43.6	33.5	36.7	35.7	37.4	36.1	26.2

図4 むし歯（う歯）の被患率の推移



(3) 心電図異常

- ① 心電図異常の者の割合は、小学校、中学校及び高等学校のいずれの学校区分においても全国平均を下回っている。
- ・小学校では1.7% (全国平均2.5%)
 - ・中学校では2.6% (同3.4%)
 - ・高等学校では2.1% (同3.1%)
- ② 10年前と比較すると、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合は増加している。

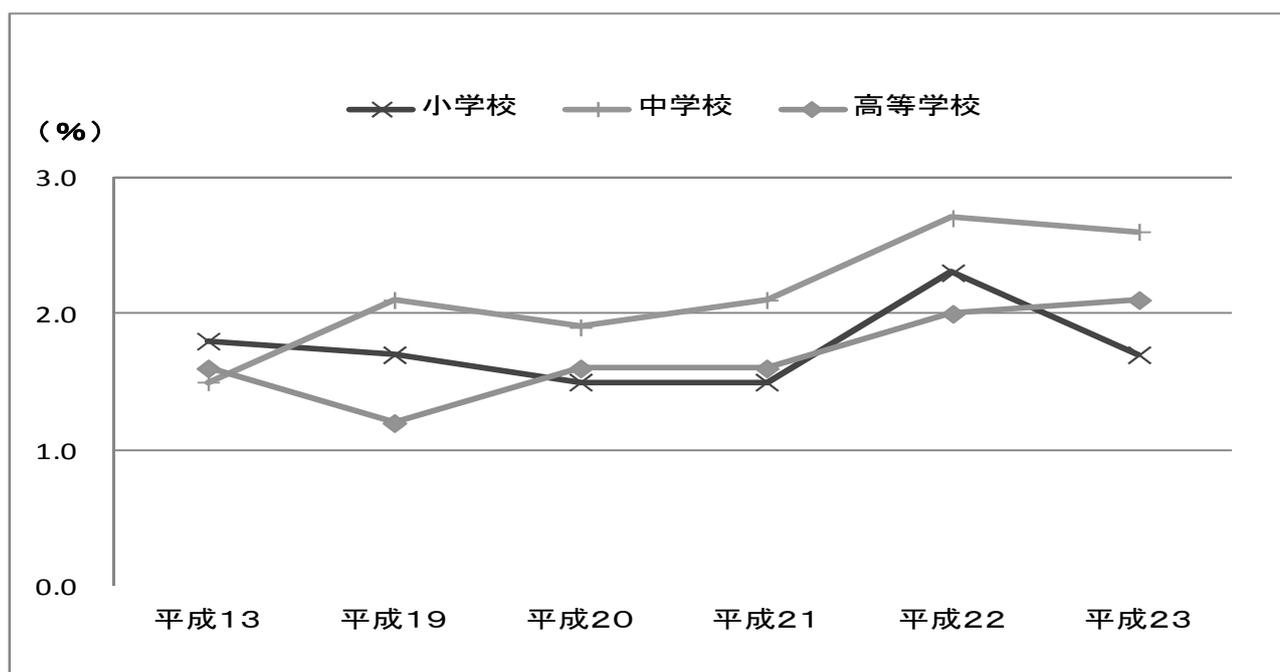
表 12 心電図異常の者の推移

(単位:%)

区 分	平成13	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	全国平均 平成23
小 学 校	1.8	1.7	1.5	1.5	2.3	1.7	2.5
中 学 校	1.5	2.1	1.9	2.1	2.7	2.6	3.4
高 等 学 校	1.6	1.2	1.6	1.6	2.0	2.1	3.1

(注)心電図の調査は、6歳、12歳及び15歳のみ実施している。

図 5 心電図異常の者の推移



(4) ぜん息

- ① ぜん息の者の割合は、全学校区分で全国平均を下回っている。
- ・幼稚園では0.7% (全国平均2.8%)
 - ・小学校では2.6% (同4.3%)
 - ・中学校では1.2% (同2.8%)
 - ・高等学校では0.7% (同1.9%)
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合は増加している。

表 13 ぜん息の者の推移

(単位:%)

区 分	平成13	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	全国平均 平成23
幼 稚 園	1.1	0.1	1.2	0.6	1.8	0.7	2.8
小 学 校	0.7	1.4	2.0	2.4	2.2	2.6	4.3
中 学 校	0.4	0.7	1.8	1.0	2.1	1.2	2.8
高 等 学 校	0.1	1.0	0.7	0.8	0.9	0.7	1.9

図 6 ぜん息の者の推移

